

公益財団法人 全国商業高等学校協会 主催
文部科学省 後援

令和5年度 第97回 簿記実務検定試験 第3級

(令和6年1月28日実施)

時間 9時00分から10時30分 (制限時間90分)

注意事項

- 1 監督者の指示があるまで、問題を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は1ページから6ページまであります。
- 3 問題用紙の落丁や印刷が不鮮明である場合には、挙手をして監督者の指示に従いなさい。なお、問題についての質問には応じません。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 途中退室は原則できません。
- 6 試験終了後、問題用紙も回収します。

受 験 番 号

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	定	期	預	金	売	掛	金				
従	業	員	立	替	金	備		品	貸	倒	引	当	金			
資	本	金														
広	告	料				貸	倒	損	失	交	通	費	消	耗	品	費

- a. 岡山商店から営業用の机といすのセット一式 ¥390,000 を購入し、代金は小切手#8 を振り出して支払った。
- b. 従業員のために現金 ¥78,000 を立て替え払いした。
- c. 福島商店（個人企業）は、現金 ¥1,600,000 を元入れして開業した。
- d. 得意先 北南商店が倒産し、前期から繰り越された同店に対する売掛金 ¥40,000 が回収不能となったため、貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が ¥52,000 ある。

2 広島商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

／月26日 全商銀行に現金 ￥500,000 を定期預金として預け入れた。 (伝票番号 No.58)

〆 日 島根新聞社に広告料 ￥190,000 を小切手#3を振り出して支払った。

(伝票番号 No.74)

3

青森商店（個人企業）の下記の取引について、

- (1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳（略式）に転記しなさい。
- (2) 売掛金元帳に記入して締め切りなさい。
- (3) /月末における合計試算表を作成しなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳における小書きは省略すること。

iii 総勘定元帳および売掛金元帳には、日付と金額のみを記入すればよい。

取 引


/月 4日 仕入先 岩手商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

B品 250個 @ ¥ 80 ¥ 20,000

5日 得意先 宮城商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

B品 200個 @ ¥ 130 ¥ 26,000

9日 仕入先 秋田商店から商品を仕入れ、次の納品書を受け取った。なお、代金は掛けとした。

No.00015	納 品 書	令和○年 1 月 9 日
〒030-0951 青森県青森市戸山字安原7-1		
<u>青 森 商 店</u> 御中		
〒010-1603 秋田県秋田市新屋勝平台1-1		
		秋田商店 
下記のとおり納品いたします。		
品 名	数 量	単 価
A品	500個	170
以下余白		
合 計		¥ 85,000

/10日 得意先 宮城商店に対する売掛金の一部 ¥ 30,000 を現金で受け取った。

//日 得意先 山形商店に次の商品を売り渡し、代金は現金で受け取った。

A品 400個 @ ¥ 250 ¥ 100,000

B品 100 " " ¥ 130 ¥ 13,000

/12日 水道光熱費 ¥ 7,800 が当座預金口座から引き落とされた。

次ページに続く

15日 仕入先 岩手商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃 ￥600 は現金で支払った。

B品 300個 @ ￥80 ￥24,000

18日 得意先 山形商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A品 100個 @ ￥250 ￥25,000

B品 250〃 〃 〃 130 ￥32,500

19日 保険料 ￥900 が当座預金口座から引き落とされた。

25日 本月分の給料 ￥30,000 の支払いにあたり、所得税額 ￥1,500 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。

29日 得意先 山形商店に対する売掛金の一部 ￥43,000 を現金で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

30日 仕入先 秋田商店に対する買掛金の一部について、次の小切手を振り出して支払った。

ZS00009	
令和〇年1月30日	
金額	¥24100
渡先	秋田商店
摘要	買掛金支払い
残高	¥75000

ZS00009 小切手

支払地 青森県青森市新町一丁目3-7
株式会社 全商銀行 青森支店


金額 ￥24,100

上記の金額をこの小切手と引き替えに
持参人へお支払いください
拒絶証書不要

振出日 令和〇年1月30日
振出地 青森県青森市 振出人 青森健一郎

青森市戸山字安原7-1
青森商店

全国 5001
0914-003



31日 八戸文具店から事務用の文房具を現金で購入し、次のレシートを受け取った。

八戸文具店

八戸市十日市塚ノ下3-1
電話：0178-96-****

領収証

20XX年1月31日 No.197

文房具 ￥300

合計 ￥300

お預り ￥300
お釣り ￥0

上記正に領収いたしました

4

次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

a. 企業は、日々の経営活動について、一定の記帳方法にしたがい、帳簿に記録・計算・整理している。この技術のことを簿記といい、英語では という。

1. Assets 2. Bookkeeping 3. Account

b. 企業は一定時点の ア を明らかにするために、資産・負債・純資産（資本等）の各項目を示す報告書を作成する。この報告書を イ といい、英語では Balance Sheet という。

1. 経営成績 2. 財政状態 3. 貸借対照表 4. 損益計算書

- (2) 次の各文の に入る金額を求めなさい。

a. 山口商店（個人企業）の当期の収益総額は ￥4,265,000 で、費用総額が ￥3,780,000 であるとき、当期純利益は ￥ である。

b. 鳥取商店（個人企業）の期首の資産総額は ￥6,871,000 負債総額は ￥3,490,000 であった。なお、この期間中の当期純利益が ￥259,000 で、期末の資産総額が ￥7,261,000 であるとき、期末の負債総額は ￥ である。

5

沖縄商店（個人企業 決算年／回 2月3日）の決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
- (2) 備品勘定および受取手数料勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ￥380,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ￥480,000 残存価額は零（0）耐用年数は6年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

